

## 貸借対照表

(資産の部)

(単位:円)

科目		本年度末	前年度末	増 減
資 産	固定資産	10,955,124,257	11,063,208,738	△ 108,084,481
	有形固定資産	10,143,293,218	10,319,382,618	△ 176,089,400
	土地	4,109,173,404	4,109,173,404	0
	建物	5,233,489,535	5,384,332,294	△ 150,842,759
	その他の有形固定資産	800,630,279	825,876,920	△ 25,246,641
	その他の固定資産	811,831,039	743,826,120	68,004,919
	流動資産	2,088,520,403	1,988,130,504	100,389,899
	現金預金	1,958,181,531	1,874,684,538	83,496,993
	その他の流動資産	130,338,872	113,445,966	16,892,906
合計		13,043,644,660	13,051,339,242	△ 7,694,582

(負債の部・基本金の部・消費収支差額の部)

(単位:円)

科目		本年度末	前年度末	増 減
負 債	固定負債	1,711,660,093	1,848,037,571	△ 136,377,478
	長期借入金	1,540,730,000	1,685,170,000	△ 144,440,000
	退職給与引当金	153,512,231	156,415,111	△ 2,902,880
	その他の固定負債	17,417,862	6,452,460	10,965,402
	流動負債	632,514,270	638,262,062	△ 5,747,792
	短期借入金	144,440,000	144,440,000	0
	その他の流動負債	488,074,270	493,822,062	△ 5,747,792
合計		2,344,174,363	2,486,299,633	△ 142,125,270
基 本 金	第1号基本金	12,856,858,804	12,687,910,272	168,948,532
	第4号基本金	169,000,000	169,000,000	0
	合計	13,025,858,804	12,856,910,272	168,948,532
消費収 支差額	翌年度繰越消費収支差額	△ 2,326,388,507	△ 2,291,870,663	△ 34,517,844
	合計	△ 2,326,388,507	△ 2,291,870,663	△ 34,517,844
負債の部・基本金の部・消費収支差額の部合計		13,043,644,660	13,051,339,242	△ 7,694,582

## 貸借対照表の概要

平成22年度末の総資産額は約130億円で、ここ数年大きな変動のない状況である。

「資産の部」からその内容をみると、まず「固定資産」について当期の新規取得は約4300万円であるが、それに係る除却額及び当年度減価償却による減額から帳簿価額は約1億800万円の減少となっている。「流動資産」では、「現金預金」の増加約8300万円を含み、総額で約1億円の増加となった。

「負債の部・基本金の部・消費収支差額の部」では、平成15年よりの高等学校校舎建築に係る借入金返済により「固定負債」の減少、「基本金組入高」の増加となっている。また、平成20年度よりリース契約の会計処理方針の変更により、固定資産取得を割賦契約とすることもあり「長期未払金」を計上(当年度末約1700万円)している。

財務比率をみると「流動比率」、「自己資本構成比率」等、資産保有に関する値は概して改善の方向性を示すが、単年度数値に関する「消費収支比率(消費支出/帰属収入)」や、「人件費比率(人件費/帰属収入)」等では、まだまだ安定性がなく年度間での変動が大きい。